

令和2年度国
交省補助事業

HoBEA（（一社）北海道建築技術協会）シンポジウム

「補強ブロック造技術の再評価と可能性」

－日本での経験を活かしたフィリピンへの改善工法の提案と国内への還元－

組積造は世界で広く活用されている工法ですが、開発途上国では地震や台風により甚大な被害を受けています。北海道建築技術協会は、2018年度より国土交通省の補助を得て、ブロックが広範囲に使われているフィリピンを対象にして、日本の補強CB造を紹介、安全なブロック造を普及するプロジェクトを進めてきました。本シンポジウムでは、フィリピンのブロック造の現状、日本での経験を活かしたフィリピンへの改善工法の提案と国内への還元、について意見交換することにより、補強CB造の見直しにつながることを期待します。

参加無料
定員40名
先着順

日時 令和2年8月20日（木）

13：30～16：30（13時受付開）

会場 北海道自治労会館 3階中ホール
（札幌市北区北6条西7丁目）
（建築CPD 3単位）



フィリピン市庁舎非構造壁の被害

フィリピン戸建住宅の地震被害

フィリピン

日本

ブロックの比較

東日本大地震の津波に耐えた住宅

公社の三角屋根ブロック住宅

外断熱二重壁のブロック住宅

シンポジウム

13:30 開会挨拶・趣旨説明 石山祐二 北海道建築技術協会会長

13:40 講演

- ・補強ブロック造技術の再評価の背景：榎府龍雄（国際協力機構）
- ・北海道の経験からの教訓：吉野利幸（北海道建築技術協会）
- ・組積造の魅力：圓山彬雄（株アーブ建築研究所）
- ・工期短縮および施工の合理化を目指した構工法の事例：米澤 稔（株よねざわ工業）

14:40 休憩（10分）

- ・フィリピンの状況の概要：青野洋之（株チヨダマシナリー）
- ・コスト低減、施工性を高めた改善工法の提案概要：石山祐二（北海道大学名誉教授）
- ・フィリピン向け改善工法の設計例：西川 忠（北電総合設計株）
- ・ブロック造の部材実験結果の概要：植松武是（北海学園大学）
- ・提案工法のコスト分析：前島彩子（明海大学）

16:05 意見交換

16:30 閉会

参加
申込

北海道建築技術協会ホームページからの申込：<https://hobea.or.jp/>

Webによる申込：<https://form.os7.biz/f/afd4174c/>



申込QRコード

主催：北海道建築技術協会

後援（予定）：北海道、AIJ北海道支部、JSCA北海道支部、JIA北海道支部

問合せ先：北海道建築技術協会 TEL 011-251-2794